

採点表 B

2 次審査表【プレゼンテーション】

事業者名：

委員氏名：

※審査項目Ⅰ 1～26の採点は、以下のとおりとする。

5 (10) 点＝「大変優れている」、4 (8) 点＝「優れている」、3 (6) 点「普通」、2 (4) 点「やや劣る」、1 (2) 点＝「劣る」

3 (6) 点は、現在のこぶし保育園と同等と認められる水準とする。

1 (2) 点または5 (10) 点を付けた場合は、その理由を特記事項に付すものとする。また、委員が、特に意見を付す必要があると判断した項目についても、特記事項にその意見を記載する。

※審査項目Ⅰ 27「プレゼンテーション」及びⅡの採点は、以下のとおりとする。

20 点＝「大変優れている」、16 点＝「優れている」、12 点「普通」、8 点「やや劣る」、4 点＝「劣る」

12 点は、現在のこぶし保育園と同等と認められる水準とする。

4 点または20 点を付けた場合は、その理由を特記事項に付すものとする。また、委員が、特に意見を付す必要があると判断した項目についても、特記事項にその意見を記載する。

審査項目Ⅰの得点 (185点)	点
審査項目Ⅱの得点 (100点)	点
合計点数 (285点)	点

審査項目	番号	審査細目	審査細々目	審査内容	配点	採点					特記事項
I 事業関係	1	保育理念・運営方針		既存園を引き継ぐことを前提に、保育園を責任を持って運営するための理念・方針を持っている。	10	10	8	6	4	2	
	2	保育計画・指導計画		当該区立保育園の現状を踏まえた子どもの健全な育成を支えていく保育計画、目標、食育計画が作成されている。教育的指導カリキュラムの導入等、小学校での生活や学びにつながる取り組みが考えられている。	10	10	8	6	4	2	
	3	保育内容	一日の保育の流れ	子どもが楽しく快適に過ごせるものとなっており、子どもの心身の安心・安全への十分な配慮がなされている。	5	5	4	3	2	1	
	4		発達過程に応じた保育内容	子ども一人ひとりに対応できるものとなっており、保育士の関わり方が適切に考えられている。	5	5	4	3	2	1	
	5	特別保育事業	0歳児保育	受入れ月齢、保育時間、保育体制が適切に考えられている。	5	5	4	3	2	1	
	6		延長保育	対象児童、利用料金、当日の受付方法等が適切に考えられている。また、利用状況に応じて、適切な保育体制が考えられている。	5	5	4	3	2	1	
	7		要支援児保育	障がいの状況、児童数に応じて、適切な保育体制が考えられ、家庭や専門機関との連携が図られている。	5	5	4	3	2	1	
	8		付帯機能	年末保育、一時保育、子育て相談事業等、地域の人を対象とした子育て支援への取り組みが考えられている。	5	5	4	3	2	1	
	9	年間行事計画		当該保育園の行事を継承しつつ、明確かつ適切な考えのもと、保育園生活を豊かにする行事が計画されている。また、保護者参加の行事について、開催日の設定に配慮がある。	5	5	4	3	2	1	
	10	職員配置・育成	職員配置	保育士確保のための対策や、離職防止策が考えられている。	10	10	8	6	4	2	
	11		職員育成	職員の資質向上のための園内研修、外部研修が定期的に計画され、各種研修への参加機会の確保が考えられており、本部のバックアップ体制が整っている。	5	5	4	3	2	1	

審査項目	番号	審査細目	審査細々目	審査内容	配点	採点					特記事項
I 事業関係	12	職員配置・育成	職員会議	保育園の運営に必要な情報交換や職員の連携形成の場として機能するように設定されており、職員の意識の統一や周知徹底、園運営の円滑化の場として機能するよう設定されている。	5	5	4	3	2	1	
	13	給食		一人ひとりの発育、発達に配慮した安心・安全・おいしい給食の提供が考えられており、食材の選定、調理方法、食事の提供のし方等、調理業務に対する考え方が明確かつ適切である。また、食事の場、食材、食器、食具等、各年齢や個々の状況に応じた環境設定や配慮が考えられている。	10	10	8	6	4	2	
	14			食物アレルギー等個別の配慮を必要とする子どもへの対応が柔軟かつ適切である。	5	5	4	3	2	1	
	15	健康管理		児童、職員への健康診断、アレルギー児や与薬が必要な児童への対応、保護者への情報提供等、保健活動が適切に考えられている。また、園医等医療機関との連携が図られ、緊急時の児童への対応及び保護者への連絡体制が適切に考えられている。	5	5	4	3	2	1	
	16	衛生管理		予防への取り組み、感染症等発生時の対応のしくみ及び再発の防止が適切に考えられている。また、施設、設備等、園の衛生環境が適切に整備されている。	5	5	4	3	2	1	
	17	事故防止・安全管理		園内外での事故防止及び事故発生時の対応、不審者対応が具体的かつ適切であり、日常生活における安全管理が適切に考えられている。	5	5	4	3	2	1	
	18	災害対策		防災訓練が、種類・内容等適切に計画されており、災害時（首都直下地震・水害等）の園内の安全確保、連絡体制及び避難誘導体制等が適切に考えられている。	5	5	4	3	2	1	
	19	児童虐待への対応		児童虐待の防止等に関する法律の規定を遵守し、具体的な対応のしくみが考えられている。	5	5	4	3	2	1	
	20	保護者との連絡・連携		日々のコミュニケーション、情報提供、保護者会等の定期開催等、保護者との連絡、支援が適切に考えられている。	5	5	4	3	2	1	

審査項目	番号	審査細目	審査細々目	審査内容	配点	採点					特記事項
I 事業関係	21	地域との連携		保育施設、小学校、児童館、地域住民等地域との交流への取組みが考えられている。	5	5	4	3	2	1	
	22	苦情対応の体制		保護者が意見・苦情を伝えやすい配慮や受付窓口の明確化が図られており、保護者の意見・苦情に迅速かつ適切に対応するしくみが考えられている。	5	5	4	3	2	1	
	23	新たな取組み		保育サービス向上のために提案する新たな取組みが、保護者ニーズを反映したものであるか。	5	5	4	3	2	1	
	24	引継ぎ		円滑に引継ぎが行われるように引継ぎ計画が具体的であり、十分な配慮が考えられており、合同保育までに、既存園からの異動や新規採用により、計画的に新園の中心となる職員を十分に確保できる。	10	10	8	6	4	2	
	25			在園児がスムーズに新園に移行するための配慮が十分にある。	10	10	8	6	4	2	
	26	職員のワークライフバランス		職員のワーク・ライフ・バランスの実現、負担軽減、働きがい醸成する取組みがあり、実行しているか。	10	10	8	6	4	2	
	27	プレゼンテーション		事業計画に実効性があり、児童が安心・安全に過ごせる保育園を設置・運営することができると認められる。また、安定した質の高い保育サービスを行うことができると認められる。	20	20	16	12	8	4	

審査項目	番号	審査細目	審査細々目	審査内容	配点	採点					特記事項
Ⅱ 園長候補者へのヒアリング	28	民営化への理解		・民営化園であることを理解し、区立園からの在園児と新たに受け入れる新園児の両者の児童、保護者と協力体制を構築できるか。 ・民営化を理解し、こぶし保育園の良さを積極的に引継いでいく姿勢が感じられたか。	20	20	16	12	8	4	
	29	リーダーシップ		・保育園運営について明確なビジョンを有しているか。 ・自己本位に陥ることなく、職員と保護者と協調を図ることができるか。 ・突発的に発生する困難な事案についても、冷静かつ適切な判断ができるか。	20	20	16	12	8	4	
	30	経験		・豊富な保育経験を有しているか。 ・後進の指導や育成経験があるか。	20	20	16	12	8	4	
	31	コミュニケーション		・わかりやすく簡潔に話すことができるか。 ・質問に対する的確に答えているか。	20	20	16	12	8	4	
	32	態度		・誠実に応答しているか。 ・率先して業務に取り組む意欲があり、活気があるか。	20	20	16	12	8	4	
合計点					285		/		285		

※下表の１は、板橋区立保育園民営化移管先事業者選定委員会の事務局が、関係法令等の基準を満たすか確認を行うこととし、採点は行わない。なお、「×」がある場合は失格とする。

必須条件	1	職員配置		児童数に応じて、正規・非常勤等必要となる職員が適切に配置され、認可上支障のない計画となっている。	—	○	×	
------	---	------	--	--	---	---	---	--